

下道恵子 議員
市政会



○ ペット同伴の専用避難所について ○ マスク緩和後の学校での対応について

その他の質問

- ・「母子健康手帳」の名称について
- ・児童センターの日曜日・祝日の開所について
- ・パートナーシップ宣誓制度への教育委員会の対応について
- ・市のコミュニティバスの「フルデマンド」の状況について

【議】 災害時にペットを避難所に同行させても、勝山市の現状では離れ離れにさせられてしまう。

どうしても同伴していただきたい

【理】 勝山市避難所開設・運営マニュアルでは、ペットは原則、避難所への持ち込みは禁止となっているが、ペットの退避場所を設けるかどうかは、住民が中心となって結成する避難所運営委員会で話し合い、最終的に避難所ごとに対応を判断するものとしている。

【理】 勝山市避難所開設・運営マニュアルでは、ペットは原則、避難所への持ち込みは禁止となっているが、ペットの退避場所を設けるかどうかは、住民が中心となって結成する避難所運営委員会で話し合い、最終的に避難所ごとに対応を判断するものとしている。

ペットとの同行避難があった際には、各避難所の建物外で風雨をしのげる場所等にペットの飼育場所を速やかに設置できるように、退避場所の確保について検討していく。

ペット同伴者専用の避難所の整備については、市民や地域のボランティアの方々協力、ペット飼育者や地域住民の意見、予算の確保等が必要となるため、今後、他の自治体の実態等も研究しながら検討していく。

【議】 令和5年3月13日よりマスク着用は個人の判断が基本となるが、子供たちの学校生活全般において、マスクに対する勝山市の基準を伺う。

【理】 卒業式について、文部科学省からの通知で「児童生徒および教職員は入退場、式辞・祝辞等、卒業証書授与、送辞・答辞の場面など式典全体を通じてマスクを外すことを基本とする」「来賓や保護者等はマスクを着用するとともに、座席間に触れ合わない程度の距離を確保した上で、参加人数の制限は不要」などの基本的な方針が示されたので、その通知に従い、各学校で対応することとしている。

4月1日以降の学校教育活動の実施にあたっては「マスクの着用を求めないことを基本とする」とされていて、これらに係る留意事項等は、改めて通知すること、その内容を踏まえて、適切な対応をお願いしていく予定である。

竹内和順 議員
新風会・公明



○ 人口減少対策戦略について ○ 地場産業の観光化について

その他の質問

- ・県への「要望書」について
- ・「みどりの食料システム戦略」について

【議】 第6次勝山市総合計画にうたう「人口減少対策を積極的に進める」、「人口減少・少子高齢化社会を前向きに捉え」の真意を伺う。

また、出生数と婚姻数は10年間同じ推移を示している。若者が結婚を考えられる環境づくりが大切と考えるが、市の見解を伺う。

【理】 これまで安心して出産・子育てができる環境づくりからは、教育委員会事務局にこども課を設置し、子育て・幼児教育・学校教育等に対して一元的かつ切れ目のない支援をしていく。また、不妊治療の経済的負担を緩和し、少子化対策につなげていく。

人口減少の中であっても市民サービスが低下するのではなく、ターゲットを明確にし、より充実したサービスを提供していきたい。

結婚事業は、少子化対策への大きな要の一つであり、結婚事業に携わる民間の方々やタイアップし、適齢期の子を持つ親を対象にした婚活セミナーやコミュニケーション能力を高めるための講座などの企画を考えていく。

【議】 最近の観光は、地域固有の資源を新たに活用し、体験型・交流型の要素を取り入れた二要素リズムが注目を集めている。よって、地場産業の発展は、観光産業にも大きな利益をもたらす。

勝山市の繊維産業は、世界に通用するものを持つている。繊維産業の発展が地域の活性化となり、観光化につながると考えるが、市の見解を伺う。

【理】 市内の繊維会社では、地域おこし協力隊や市外で活躍するデザイナー等とのタッグによる新しい視点での取り組みや、これまでの企業間取引に加え、独自ブランドを立ち上げて製造から販売まで一貫して行う消費者との直接取引を新たに始めた企業もある。また、業界全体で産地を盛り上げるため「越前勝山織」といった地域団体商標登録に向けた活動を行っている話も聞いている。

現在も一部の企業では工場見学等が行われ、先ほどの新しい取り組みなどと一緒、産地一体となってPRしていくことで、繊維産業の観光化に繋がると考える。